

## 調査票（案）及び記入イメージ

### <本日提示している調査票>

	木造	非木造
地震－第1次 第2次	○	○
水害	○	－
風害	○	－

### <調査票（案）>

■木造	地震	第1次.....	1
		第2次.....	3
■木造	水害	.....	8
■木造	風害	.....	13
■非木造	地震	第1次.....	18
		第2次.....	21

### <記入イメージ>

■木造地震		
・ 図面の書き方	.....	24
・ 調査票記入イメージ（第1次、第2次）	.....	26
■非木造地震		
・ 調査票記入イメージ（第1次、第2次）	.....	34

調査日	平成 年 月 日( )	2【配置状況】	<input type="checkbox"/> 前面道路などと敷地、建物との関係 <input type="checkbox"/> 建物が複数あった場合、調査した建物 <input type="checkbox"/> 居住・非居住の区別
1 調査時	: ~ :		
調査員			
所在地			
世帯主			
備考			

3 応急危険度判定	<input type="radio"/> 危険 <input type="radio"/> 要注意 <input type="radio"/> 調査済 <input type="radio"/> 不明	※応急危険度判定に記載されているコメントを転記
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊かつ破壊している 基礎直下の地盤に地震に伴う陥没、隆起、液状化等の被害有	該当あり ※被害状況写真を撮影	<input type="checkbox"/> 調査終了(全壊)
↓ 該当なし		※被害状況写真を撮影	

5 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上	<input type="checkbox"/> 調査終了(全壊)
	水平距離(cm)					cm		

6 基礎	損傷率	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上	75%以上	<input type="checkbox"/> 調査終了(全壊)
↓ 75%未満								※被害状況写真を撮影

		損傷面積率							損傷面積率				
7 壁	程度Ⅰ	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上	8 屋根	程度Ⅰ	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上
	程度Ⅱ	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上		程度Ⅱ	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上
	程度Ⅲ	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上		程度Ⅲ	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上
	程度Ⅳ	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上		程度Ⅳ	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上
	程度Ⅴ	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上		程度Ⅴ	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上

備考	
----	--

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

		b	c
		<b>部 位 別 損 害 割 合</b>	
		傾斜 2cm以上の場合	
		$a \times (\text{無損傷面積率} \times 0$ $+ \text{損傷程度 I の面積率} \times 0.1$ $+ \text{損傷程度 II の面積率} \times 0.25$ $+ \text{損傷程度 III の面積率} \times 0.5$ $+ \text{損傷程度 IV の面積率} \times 0.75$ $+ \text{損傷程度 V の面積率} \times 1)$	
	a ↓		
屋根	10%		
壁 (外壁)	80%		
基礎	10%		
傾斜	cm		15%
	計		

傾斜が2cm以上の場合は、「b」と「c」の大きい方

備考

調査日	平成 年 月 日( )	備考
1 調査時	: ~ :	
調査員		
立会人		
所在地		
世帯主		

2 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊かつ破壊している 基礎直下の地盤に地震に伴う陥没、隆起、液状化等の被害有	該当あり ※被害状況写真を撮影	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	↓ 該当なし		

3 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上	※被害状況写真を撮影 <input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	水平距離 (cm)					cm		

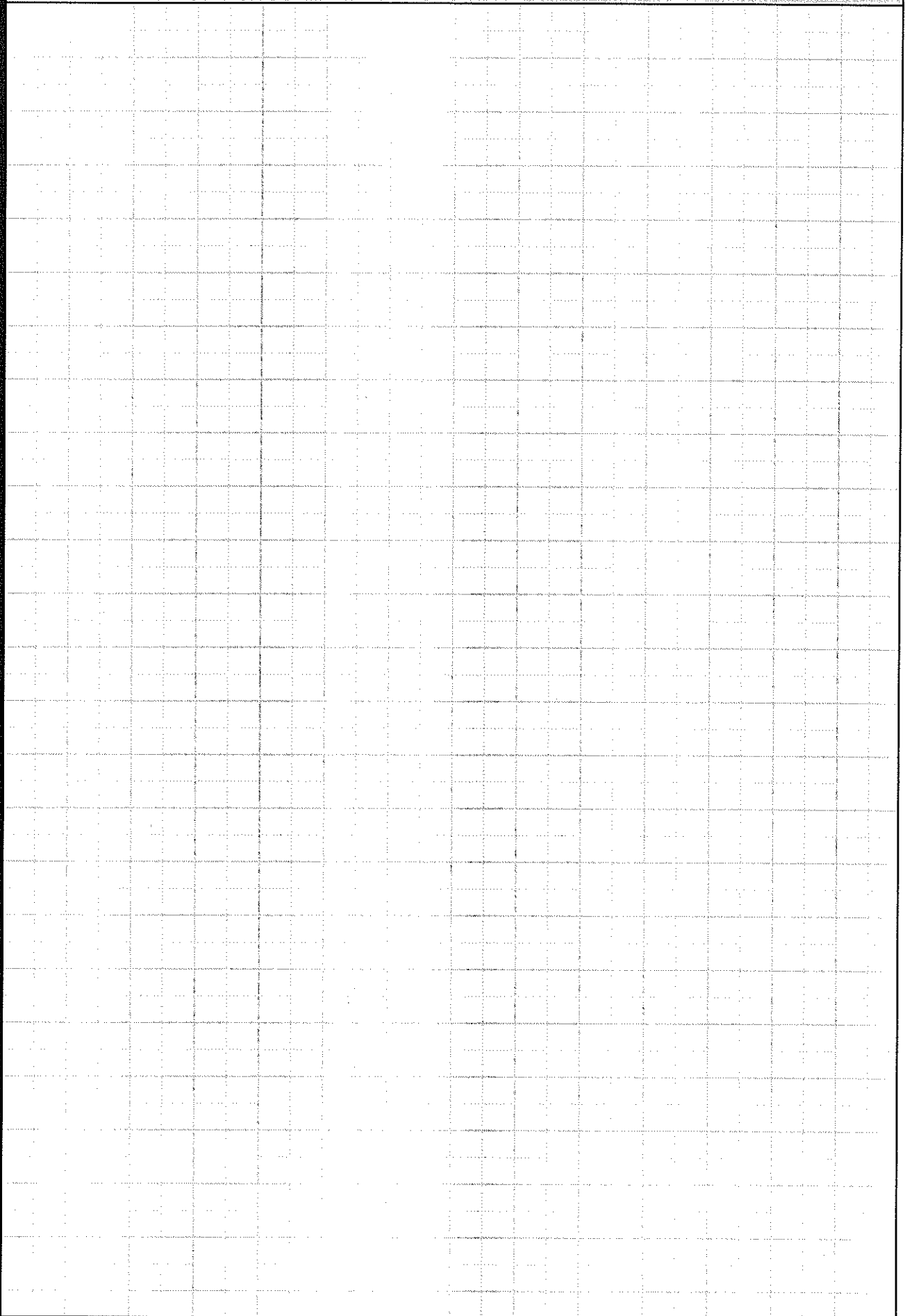
4 基礎	損傷長a	m	損傷率 $a/b \times 100$	75%以上	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	全長b	m			

5 柱(又は耐力壁)	<input type="checkbox"/> 程度IV以上の被害が全面(100%)である。 <input type="checkbox"/> 程度Vの被害が75%以上である。 <input type="checkbox"/> 程度Vの被害が50%、残りの部分は程度III以上である。	該当あり ※被害状況写真を撮影	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	↓ 75%未満		

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

--	--	--	--	--

【階平面図】



【屋根伏図】

7

8	各階面積率			
---	-------	--	--	--

9	主要階は		階
---	------	--	---

10	柱 (又は耐力壁)		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

11	外壁		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

12	屋根		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

13	床 (階段含)		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

14	内壁		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

15	建具		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

16	天井		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

17	設備		階	被害の状況	チェック
		浴室		1.配管のズレ等	
				2.バスタブの割れ等	
				3.再使用が不可能	
		キッチン		1.配管のズレ等	
				2.再使用は可能だが大きく破損	
3.再使用が不可能					
その他 上記以外の水回り、ベランダ等 ※調査対象とした設備名称を具体的に記入					

--	--	--	--	--	--	--	--

	a↓	b 階 別 別 率 損 傷 率			c 階 別 別 損 害 割 合			d 部 位 別 損 害 割 合	e 重 み 付 け 損 害 割 合	f 部 位 別 損 害 割 合 (採用値)	g 傾 斜 2cm以 上の場合
		1階	2階	3階	1階	2階	3階	cの各階 合計	主要階の c×1.25 +他の階 のc×0.5	dとeの大きい 方(MAXa)	
		無損傷の面積率×0 +損傷程度Ⅰの面積率×0.1 +損傷程度Ⅱの面積率×0.25 +損傷程度Ⅲの面積率×0.5 +損傷程度Ⅳの面積率×0.75 +損傷程度Ⅴの面積率×1			a×b×各階面積率			cの各階 合計	主要階の c×1.25 +他の階 のc×0.5	dとeの大きい 方(MAXa)	傾斜 2cm以 上の場合
→ 主要階		■			■						
							各階計	重み付き 計			
外壁	10%										
柱(又は 耐力壁)	20%										
屋根	10%										
床 (階段含)	10%										
内壁	15%										
建具	10%										
天井	5%										
設備	10%										
基礎	10%										
傾斜	cm										15%
									計		

傾斜が2cm以上の場合は、「f」と「g」の大きい方

備考



調査日	平成 年 月 日 ( )	2	【配置状況】 ■前面道路などと敷地、建物との関係 ■建物が複数あった場合、調査した建物 ■居住・非居住の区別
1 調査時	: ~ :		
調査員			
立会人			
所在地			
世帯主			
備考			

3 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊	該当あり ※被害状況写真を撮影	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	<input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊		

↓ 該当なし

4 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	※被害状況写真を撮影 6cm以上 2cm以上6cm未満	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊) 「6基礎」へ
	水平距離 (cm)					cm		

↓ 2cm未満

5 浸水深	cm	床下浸水	<input type="checkbox"/> 調査終了 (半壊未満)
-------	----	------	--------------------------------------

↓ 床上浸水

6 基礎	損傷長 a	m	損傷率 $a/b \times 100$	75%以上 ※被害状況写真を撮影	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	全長 b	m			

7 汚泥堆積	<input type="checkbox"/> 浸水により汚泥堆積がある	75%未満
--------	---------------------------------------	-------

8 柱(又は耐力壁)	<input type="checkbox"/> 程度Ⅳ以上の被害が全面(100%)である。	該当あり ※被害状況写真を撮影	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	<input type="checkbox"/> 程度Ⅴの被害が75%以上である。		
	<input type="checkbox"/> 程度Ⅴの被害が50%、残りの部分は程度Ⅲ以上である。		

※被害状況写真を撮影

該当なし 「9」以降へ

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

--	--	--	--	--

【階平面図】

A large grid for drawing a floor plan. The grid consists of 20 columns and 20 rows of small squares, with a larger square grid overlaid on top. The grid is intended for drawing a floor plan.

--	--	--	--	--

【屋根伏図】

10

11 各階面積率

--	--	--	--

12 主要階は

	階
--	---

13 柱(又は耐力壁)

	1階	2階	3階
無被害			
程度Ⅰ			
程度Ⅱ			
程度Ⅲ			
程度Ⅳ			
程度Ⅴ			

14 外壁

	1階	2階	3階
無被害			
程度Ⅰ			
程度Ⅱ			
程度Ⅲ			
程度Ⅳ			
程度Ⅴ			

15 屋根

	1階	2階	3階
無被害			
程度Ⅰ			
程度Ⅱ			
程度Ⅲ			
程度Ⅳ			
程度Ⅴ			

16 床(階段含)

	1階	2階	3階
無被害			
程度Ⅰ			
程度Ⅱ			
程度Ⅲ			
程度Ⅳ			
程度Ⅴ			

17 内壁

	1階	2階	3階
無被害			
程度Ⅰ			
程度Ⅱ			
程度Ⅲ			
程度Ⅳ			
程度Ⅴ			

18 建具

	1階	2階	3階
無被害			
程度Ⅰ			
程度Ⅱ			
程度Ⅲ			
程度Ⅳ			
程度Ⅴ			

19 天井

	1階	2階	3階
無被害			
程度Ⅰ			
程度Ⅱ			
程度Ⅲ			
程度Ⅳ			
程度Ⅴ			

20 設備

	階	被害の状況	チェック
浴室		1.配管のズレ等	
		2.バスタブの割れ等	
		3.再使用が不可能	
キッチン		1.配管のズレ等	
		2.再使用は可能だが大きく破損	
		3.再使用が不可能	
その他 上記以外の水回り、ベランダ等 ※調査対象とした設備名称を具体的に記入			

--	--	--	--	--	--	--

	主要階 a↓	b			c			d	e	f	g
		1階	2階	3階	1階	2階	3階	各階計	重み付き損害割合	部位別損害割合(採用値)	傾斜 2cm以上の場合
		■			■			各階計	重み付き計	dとeの大きい方(MAXa)	
外壁	10%										
柱(又は耐力壁)	20%										
屋根	10%										
床(階段含)	10%	※1									
内壁	15%										
建具	10%										
天井	5%										
設備	10%										
基礎	10%	※2									
傾斜	cm										15%

※1:「7汚泥堆積」にチェックがある場合は、1階床面積全てを程度IVとする  
 程度Vがある場合の計算は、程度Vの面積比率+0.75×(1-程度V面積比率)

※2:「7汚泥堆積」にチェックがある場合は、+1%

計		
---	--	--

傾斜が2cm以上の場合は、「f」と「g」の大きい方

備考

調査日	平成 年 月 日( )	2 【配置状況】 ■前面道路などと敷地、建物との関係 ■建物が複数あった場合、調査した建物 ■居住・非居住の区別
1 調査時	: ~ :	
調査員		
立会人		
所在地		
備考		

3 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊	該当あり ※被害状況写真を撮影	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	<input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊		

↓ 該当なし

4 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上 2cm以上6cm未満	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊) 「6基礎」へ
	水平距離 (cm)					cm		

↓ 2cm未満

5 屋根等の損傷	屋根	<input type="checkbox"/> 棟瓦以外の瓦もずれが著しい。 <input type="checkbox"/> 金属板葺材のジョイント部に、はがれ等の損傷が見られる。 <input type="checkbox"/> 屋上仕上面に破断、不陸、亀裂、剥落が見られる。 <input type="checkbox"/> 飛来物による突き刺さり、貫通痕がある。	該当なし	<input type="checkbox"/> 調査終了 (半壊未満)
	外壁	<input type="checkbox"/> 仕上材が脱落している。 <input type="checkbox"/> 釘の浮き上がり、ボードの破損、脱落が見られる。 <input type="checkbox"/> 飛来物による突き刺さり、貫通痕がある。		
	建具	<input type="checkbox"/> ガラスが破損している。 <input type="checkbox"/> ドアが破壊されている。		

↓ 該当あり

6 基礎	損傷長a	m	損傷率 $a/b \times 100$	75%以上 ※被害状況写真を撮影	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	全長b	m			

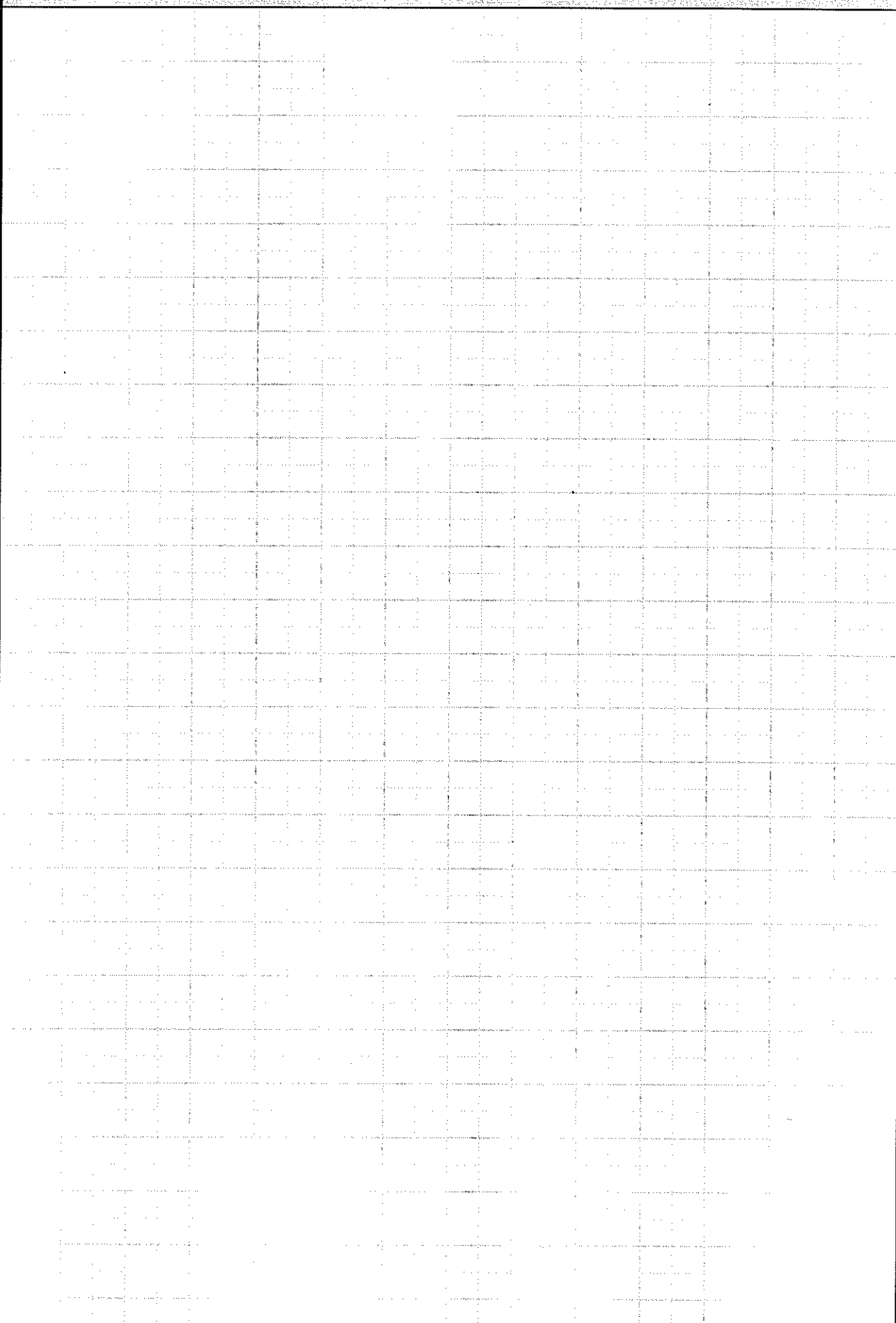
↓ 75%未満

7 柱(又は耐力壁)	<input type="checkbox"/> 程度IV以上の被害が全面(100%)である。 <input type="checkbox"/> 程度Vの被害が75%以上である。 <input type="checkbox"/> 程度Vの被害が50%、残りの部分は程度III以上である。	該当あり	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
		該当なし 「8」以降へ	

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

--	--	--	--	--

【階平面図】



--	--	--	--	--

【屋根伏図】



10	各階面積率			
----	-------	--	--	--

11	主要階は		階
----	------	--	---

12	柱 (又は耐力壁)		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

13	外壁		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

14	屋根		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

15	床 (階段含)		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

16	内壁		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

17	建具		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

18	天井		1階	2階	3階
		無被害			
		程度Ⅰ			
		程度Ⅱ			
		程度Ⅲ			
		程度Ⅳ			

19	設備		階	被害の状況	チェック
		浴室		1.配管のズレ等	
				2.バスタブの割れ等	
				3.再使用が不可能	
		キッチン		1.配管のズレ等	
				2.再使用は可能だが大きく破損	
3.再使用が不可能					
その他 上記以外の水回り、ペランダ等 ※調査対象とした設備名称を具体的に記入					

	→ 主要階 a↓	b			c			d	e	f	g
		階 別 別 率 損 傷 別 率			階 別 別 損 害 割 合			部 位 別 損 害 割 合	重 み 付 け 損 害 割 合	部 位 別 損 害 割 合 (採用値)	傾斜 2cm以上の場合
		無損傷の面積率×0 + 損傷程度Ⅰの面積率×0.1 + 損傷程度Ⅱの面積率×0.25 + 損傷程度Ⅲの面積率×0.5 + 損傷程度Ⅳの面積率×0.75 + 損傷程度Ⅴの面積率×1			a×b×各階面積率			cの各階 合計	主要階の c×1.25 + 他の階 のc×0.5	dとeの大きい 方(MAXa)	
1階	2階	3階	1階	2階	3階	各階計	重み付き計				
外壁	10%										
柱(又は耐力壁)	20%										
屋根	10%										
床(階段含)	10%										
内壁	15%										
建具	10%										
天井	5%										
設備	10%										
基礎	10%										
傾斜	cm										15%
計											

傾斜が2cm以上の場合「f」と「g」の大きい方

備考

--	--	--	--	--	--	--

調査月日	平成 年 月 日	調査員	
1 調査時	: ~ :	所在地	

2 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊					いずれかに該当 →	<input type="checkbox"/> 全壊 (調査終了) ※被害状況写真を撮影	
3 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値		→ 平均値が4cm以上 → yes → ↓ no → (基礎ぐいを用いる住家について) 2cm以上かつ最大沈下量もしくは最大露出量30cm以上 → yes → ↓ no → 「4」に図面を記入し部位別調査へ
	水平距離 (cm)							cm

6 柱・梁の目視	<input type="checkbox"/> 外観目視により柱又は梁を確認できる場合 ⇒ 7 柱 梁へ <input type="checkbox"/> 外観目視により柱および梁を確認できない場合 ⇒ 8 雑壁・仕上等へ
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

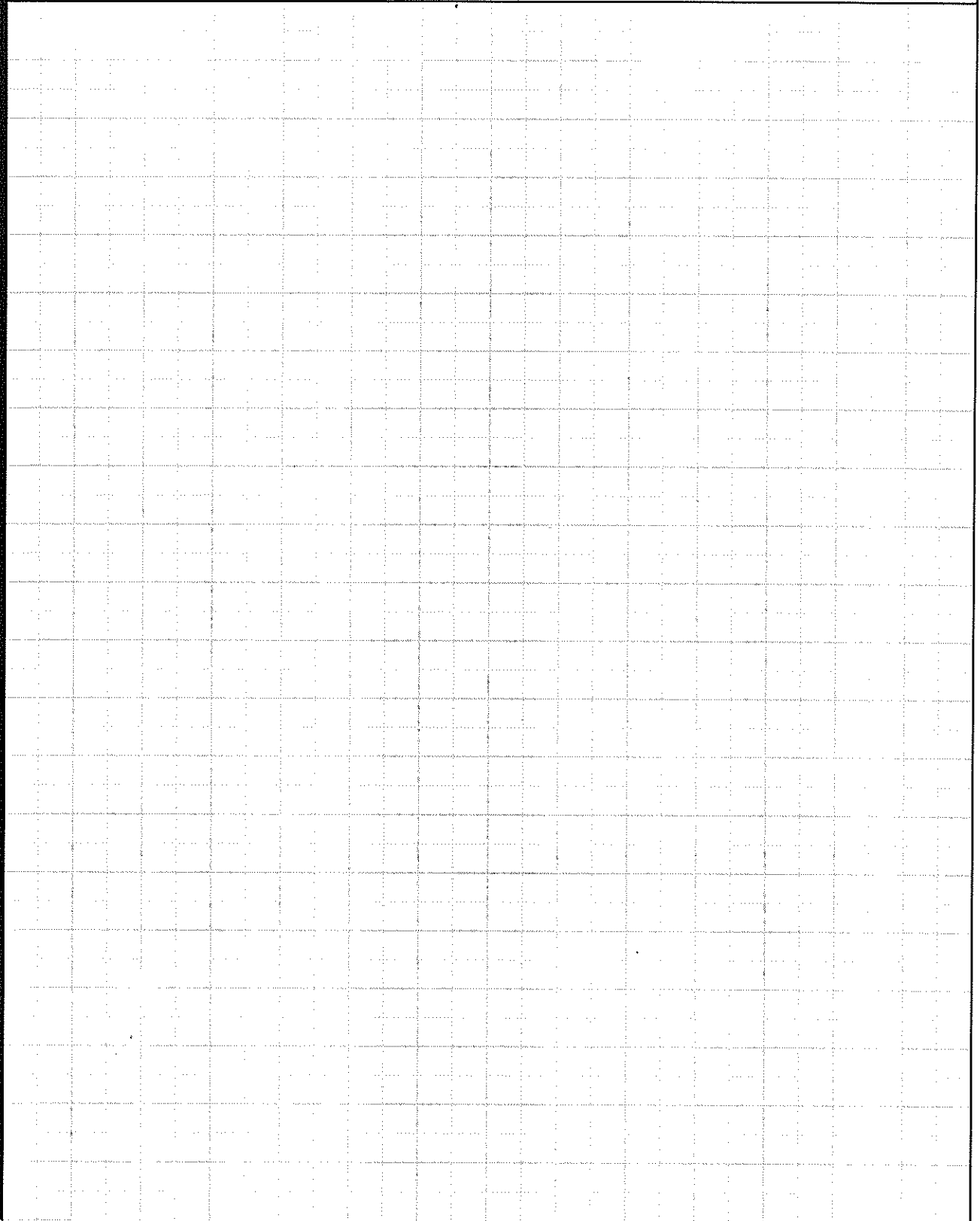
7 柱	柱		7 梁 (目視が可能な場合)	梁	
	損傷柱の本数	柱の総数		面積率	面積率
	無被害(0%)			無被害(0%)	
	程度Ⅰ(10%)			程度Ⅰ(10%)	
	程度Ⅱ(25%)			程度Ⅱ(25%)	
	程度Ⅲ(50%)			程度Ⅲ(50%)	
	程度Ⅳ(75%)			程度Ⅳ(75%)	
	程度Ⅴ(100%)			程度Ⅴ(100%)	

8 雑壁・仕上等	雑壁・仕上等		9 設備等	設備等	
	面積率	面積率		設備	被害の状況
	無被害(0%)			高架水槽・受水槽	
	程度Ⅰ(10%)			外部階段	
	程度Ⅱ(25%)			その他外部から目視できる設備 (具体的設備名称を記入)	
	程度Ⅲ(50%)				
	程度Ⅳ(75%)				
	程度Ⅴ(100%)				

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

--	--	--	--	--	--

【平面図】



4

5	応急危険度判定	危険	要注意	調査済	不明	※応急危険度判定に記載されているコメントを転記

備考	
----	--

	b	c
	<b>部位別 損害割合</b>	<b>傾斜 2cm以上の場合</b>
a ↓	$a \times (\text{無被害面積} \times 0$ $+ \text{被害程度 I の面積} \times 0.1$ $+ \text{被害程度 II の面積} \times 0.25$ $+ \text{被害程度 III の面積} \times 0.5$ $+ \text{被害程度 IV の面積} \times 0.75$ $+ \text{被害程度 V の面積} \times 1)$	

**【外観目視により柱又は梁を確認できる場合】**

柱(又は梁) <small>※大きい方の値を採用</small>	60%		
雑壁・仕上等	25%		
設備等	15%		
傾斜	cm		20%
	計		

**【外観目視により柱又は梁を確認できない場合】**

外壁	85%		
設備等	15%		
傾斜	cm		20%
	計		

傾斜が2cm以上の場合は、  
「b」と「c」の大きい方

--	--	--	--	--	--	--

調査月日	平成 年 月 日	1	調査時	: ~ :
調査員				
立会人				
所在地	世帯主氏名			

2 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊		いずれかに該当					
3 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	→ 平均値が4cm以上 → yes	<input type="checkbox"/> 全壊 ※被害状況写真を撮影
	水平距離 (cm)						↓ no (基礎ぐいを用いる住家について) 2cm以上かつ最大沈下量もしくは 最大露出量30cm以上 ↓ yes → ↓ no → 「4」に図面を記入し部位別調査へ	

5	鉄骨造	鉄筋コンクリート	6	ア柱・イ耐力壁	エ柱 ⇒6へ	7	ウ外部仕上 ⇒7へ	※判定に用いた部位を丸で囲む	ア柱・イ耐力壁 / エ柱	損傷程度	損傷数	総数	ウ外部仕上 / オ耐力壁	損傷程度	面積率	
	ア:柱 ⇒6へ	エ:柱 ⇒6へ		無被害(0%)				無被害(0%)			無被害(0%)			無被害(0%)		
	イ:耐力壁 ⇒6へ	オ:耐力壁 ⇒7へ		程度Ⅰ(10%)				程度Ⅰ(10%)			程度Ⅰ(10%)			程度Ⅰ(10%)		
	ウ:外部仕上 ⇒7へ			程度Ⅱ(25%)				程度Ⅱ(25%)			程度Ⅱ(25%)			程度Ⅱ(25%)		
				程度Ⅲ(50%)					程度Ⅲ(50%)			程度Ⅲ(50%)				
				程度Ⅳ(75%)					程度Ⅳ(75%)			程度Ⅳ(75%)				
				程度Ⅴ(100%)					程度Ⅴ(100%)			程度Ⅴ(100%)				

8	床	損傷程度	面積率
		無被害(0%)	
		程度Ⅰ(10%)	
		程度Ⅱ(25%)	
		程度Ⅲ(50%)	
		程度Ⅳ(75%)	
		程度Ⅴ(100%)	

9	梁	損傷程度	面積率
		無被害(0%)	
		程度Ⅰ(10%)	
		程度Ⅱ(25%)	
		程度Ⅲ(50%)	
		程度Ⅳ(75%)	
		程度Ⅴ(100%)	

10	外部仕上・雑壁・屋根	損傷程度	面積率
		無被害(0%)	
		程度Ⅰ(10%)	
		程度Ⅱ(25%)	
		程度Ⅲ(50%)	
		程度Ⅳ(75%)	
		程度Ⅴ(100%)	

11	内部仕上・天井	損傷程度	面積率
		無被害(0%)	
		程度Ⅰ(10%)	
		程度Ⅱ(25%)	
		程度Ⅲ(50%)	
		程度Ⅳ(75%)	
		程度Ⅴ(100%)	

12	建具	損傷程度	損傷枚数	総数
		無被害(0%)		
		程度Ⅰ(10%)		
		程度Ⅱ(25%)		
		程度Ⅲ(50%)		
		程度Ⅳ(75%)		
		程度Ⅴ(100%)		

13	設備等(住家外)	設備	被害の状況
		高架水槽・受水槽	
		外部階段	
		その他外部から目視できる設備	

14	設備等(住家内)	設備	被害の状況
		システムキッチン	
		洗面台	
		便器	
		ユニットバス	
		配管の取り付け口	

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

--	--	--	--	--	--	--	--

【平面図】

A large grid area for drawing a floor plan. The grid consists of 20 columns and 20 rows of small squares, with a larger square grid overlaid on top. The grid is intended for drawing a floor plan of a house.

		b	c
		部 位 別 損 害 割 合	傾斜 2cm以上の場合
		$a \times (\text{無被害面積} \times 0$ $+ \text{被害程度 I の面積} \times 0.1$ $+ \text{被害程度 II の面積} \times 0.25$ $+ \text{被害程度 III の面積} \times 0.5$ $+ \text{被害程度 IV の面積} \times 0.75$ $+ \text{被害程度 V の面積} \times 1)$	
		a ↓	
柱(又は耐力壁)	50%		
床・梁 ※大きい方の値を採用	10%		
外部仕上・雑壁・ 屋根	10%		
内部仕上・天井	10%		
建具	5%		
設備等(住家内)	5%		
設備等(住家外)	10%		
傾斜			20%
	計		

傾斜が2cm以上の場合は、「b」と「c」の大きい方

備考



## ■図面の描き方（木造2階建の場合）

### （1）3つの図面の位置づけ

- ・必要な図面は、屋根伏図（真上から見た屋根の外形図）、2階平面図、1階平面図の3つです。
- ・図面は、黒ボールペンで3つの図を描いたのち、色ボールペンで損傷程度・損傷箇所を記入します。
- ・3つの図面に損傷程度・損傷箇所を記入する部位は、以下の通りです。

#### 3つの図面に記入する部位

屋根伏図：屋根

2階平面図：柱（又は耐力壁）、床（階段を含む）、外壁、内壁、天井、建具、設備

1階平面図：傾斜、柱（又は耐力壁）、床（階段を含む）、外壁、内壁、天井、建具、基礎、設備

### （2）屋根伏図、平面図を描く上での注意事項

- ・各図面は、書き込みができるよう、A4サイズのなかでなるべく大きく描いてください。
- ・柱（又は耐力壁）と建具（窓や扉）の違いが分かるように記載してください。
- ・畳の大きさなどを基準とし、各部屋の大まかなバランスが崩れないように注意して図面を描いてください。

### （3）損傷程度・損傷箇所を記入する上での注意事項

- ・床や屋根のように損傷箇所を面的に記入する場合は青ボールペンで、柱（又は耐力壁）や外壁、内壁など損傷箇所を線的に記入する場合は赤ボールペンで損傷程度・損傷箇所を記入する。
- ・損傷程度・損傷箇所の記入に当たっては、損傷程度や損傷箇所が判別できるよう、斜線を用いて塗りつぶし方を変えるなど工夫してください。

## ①屋根伏図

- ・屋根の損傷程度・損傷箇所を青ボールペンで記入してください。ただし、1階部分と2階部分の屋根を分けて損傷面積を算出することに注意してください。

## ②1階平面図

- ・4隅に傾斜の方向を矢印で記入してください
- ・基礎の被害箇所を、赤ボールペンで記入してください。
- ・床、天井の損傷程度・損傷箇所を青ボールペンで記入してください。ただし、床と天井の損傷箇所が判別できるよう、床は実線、天井は点線で損傷箇所を記入してください。
- ・柱（又は耐力壁）、外壁、内壁の損傷程度・損傷箇所を赤ボールペンで記入してください。

それぞれ損傷箇所が判別できるよう、柱（又は耐力壁）は図面上の該当箇所に、外壁と内壁はそれぞれ該当箇所の外側と内側に記入してください。

- ・ 建具は、損傷箇所に×印を付け、損傷程度を記入してください。
- ・ 設備は、損傷箇所に×印を付けてください。

### ③ 2階平面図

- ・ 床、天井の損傷程度・損傷箇所を青ボールペンで記入してください。ただし、床と天井の損傷箇所が判別できるよう、床は実線、天井は点線で損傷箇所を記入してください。
- ・ 柱（又は耐力壁）、外壁、内壁の損傷程度・損傷箇所を赤ボールペンで記入してください。それぞれ損傷箇所が判別できるよう、柱（又は耐力壁）は図面上の該当箇所に、外壁と内壁はそれぞれ該当箇所の外側と内側に記入してください。
- ・ 建具は、損傷箇所に×印を付け、損傷程度を記入してください。
- ・ 設備は、損傷箇所に×印を付けてください。

調査日	平成 ××年 ××月 ××日(×)	2	【配置状況】 ■前面道路などと敷地、建物との関係 ■建物が複数あった場合、調査した建物 ■居住・非居住の区別
1 調査時	15:20 ~ 15:40		
調査員	●●●●●●●●		
所在地	●●●●●●●●●●●●●●●●		
世帯主	●●●●●●●●		
備考			

3 応急危険度判定	<input type="radio"/> 危険 <input type="radio"/> 要注意 <input checked="" type="radio"/> 調査済 <input type="radio"/> 不明	※応急危険度判定に記載されているコメントを転記
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊かつ破壊している 基礎直下の地盤に地震に伴う陥没、隆起、液状化等の被害有	該当あり ※被害状況写真を撮影	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------	------------------------------------

5 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	水平距離 (cm)	3	3	2	0	2 cm		

6 基礎	損傷率	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上	75%以上	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
------	-----	-------	--------	--------	--------	-------	-------	------------------------------------

		損傷面積率							損傷面積率				
7 壁	程度 I	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上	8 屋根	程度 I	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上
	程度 II	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上		程度 II	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上
	程度 III	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上		程度 III	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上
	程度 IV	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上		程度 IV	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上
	程度 V	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上		程度 V	10%未満	10~25%	25~50%	50~75%	75%以上

備考	
----	--

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
	32.1%	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

		b	c
		部 位 別 損 害 割 合	傾 斜 2cm以上の場合
		$a \times (\text{無損傷面積率} \times 0$ $+ \text{損傷程度 I の面積率} \times 0.1$ $+ \text{損傷程度 II の面積率} \times 0.25$ $+ \text{損傷程度 III の面積率} \times 0.5$ $+ \text{損傷程度 IV の面積率} \times 0.75$ $+ \text{損傷程度 V の面積率} \times 1)$	
	a ↓		
屋根	10%	2.1%	2.1%
壁 (外壁)	80%	27.0%	/
基礎	10%	3.0%	
傾斜	cm	/	15%
	計		32.1%

傾斜が2cm以上の場合は、「b」と「c」の大きい方

備考

調査日	平成 ××年 ×× 月 ×× 日( × )	備考
1 調査時	10 : 00 ~ 11 : 00	
調査員	●●● ●●●	
調査員	●●● ●●●	
立会人	●●● ●●●	
所在地	●●●●●●●●●●●●●●●●	
世帯主	●●● ●●●	

2 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊かつ破壊している 基礎直下の地盤に地震に伴う陥没、隆起、液状化等の被害有	該当あり ※被害状況写真を撮影	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	↓ 該当なし		

3 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上	※被害状況写真を撮影 <input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	水平距離 (cm)	3	3	2	0	2 cm	6cm未満	

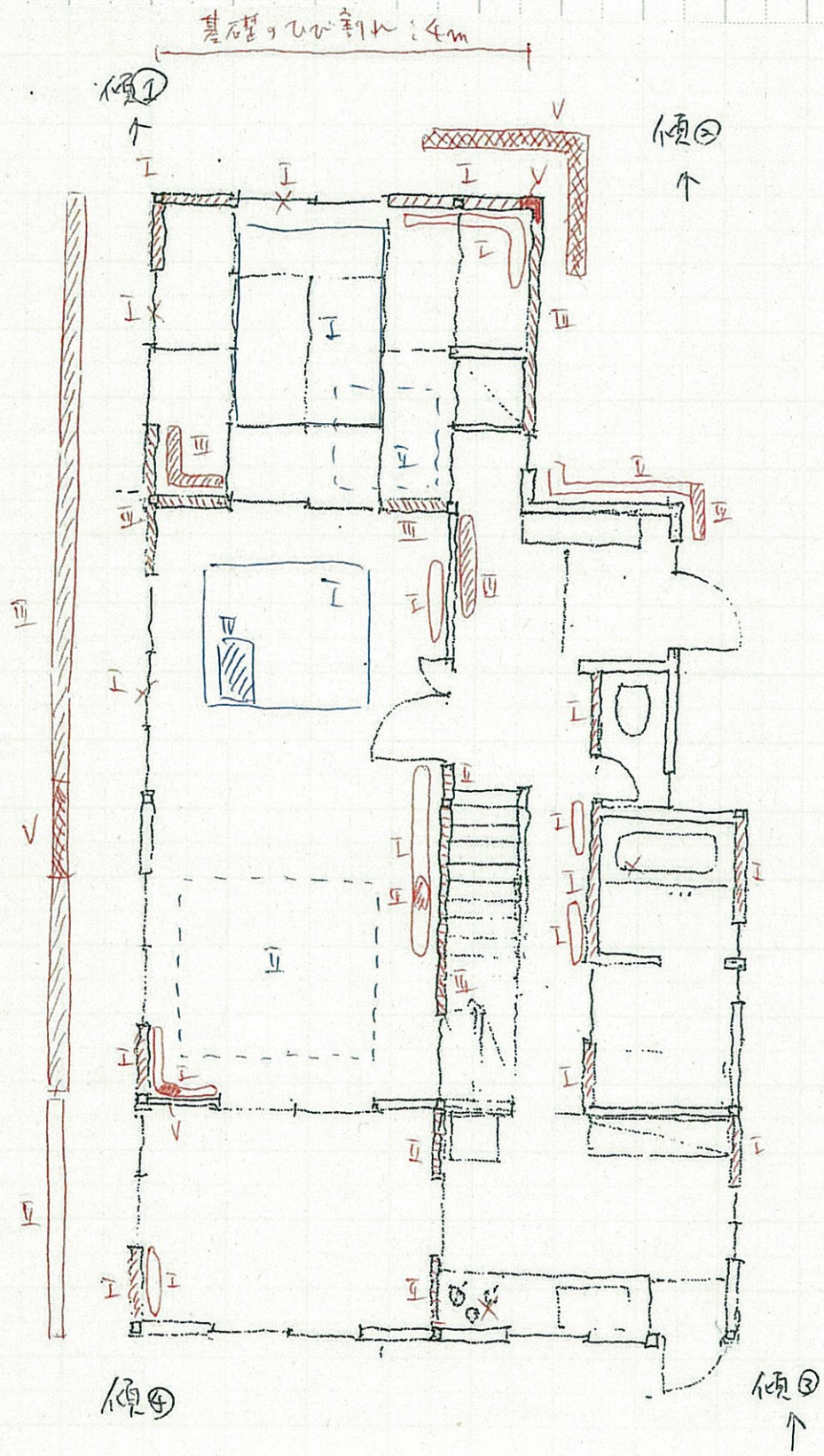
4 基礎	損傷長a	4 m	損傷率a/b×100	75%以上	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	全長b	40 m		75%未満	

5 柱(又は耐力壁)	<input type="checkbox"/> 程度Ⅳ以上の被害が全面(100%)である。 <input type="checkbox"/> 程度Ⅴの被害が75%以上である。 <input type="checkbox"/> 程度Ⅴの被害が50%、残りの部分は程度Ⅲ以上である。	該当あり ※被害状況写真を撮影	<input type="checkbox"/> 調査終了 (全壊)
	↓ 75%未満		

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
	31.5%	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊



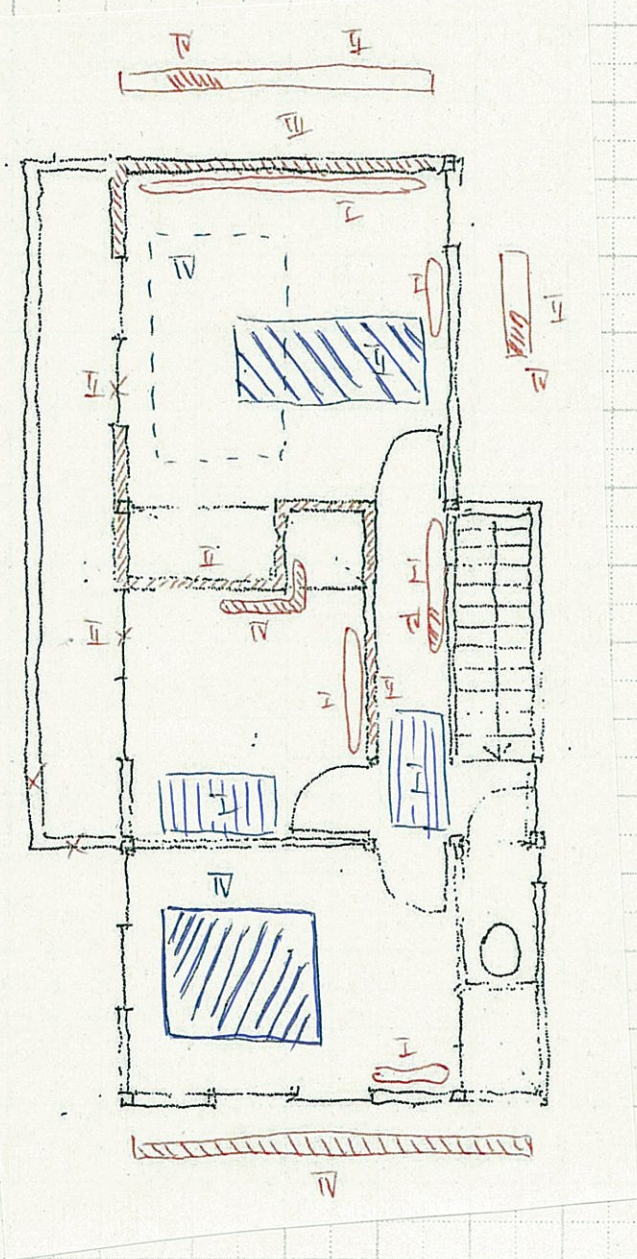
【階平面図】



6

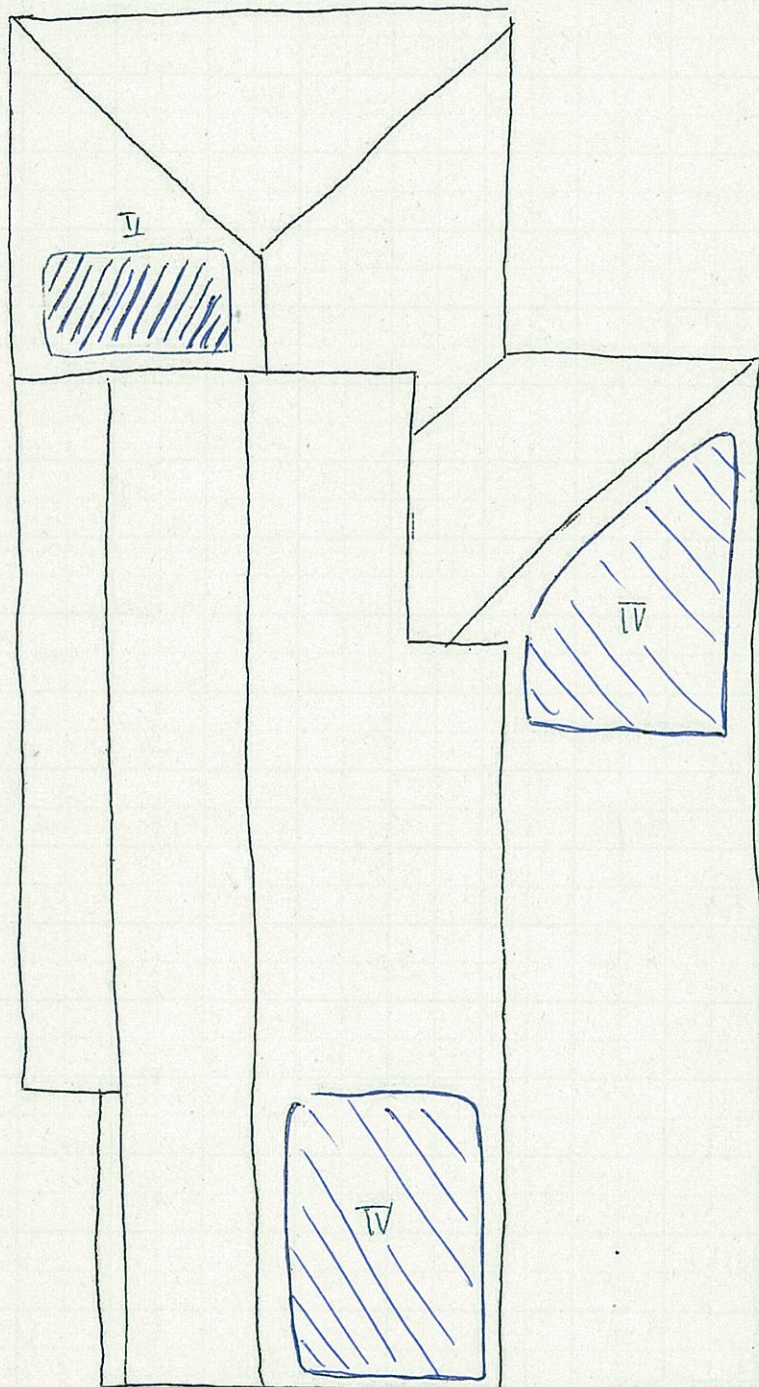


【2階平面図】





【屋根伏図】



7



8	各階面積率	$\frac{2}{3}$	$\frac{1}{3}$	
		0.6	0.3	

9	主要階は	/	階
---	------	---	---

10	柱 (又は耐力壁)		1階	2階	3階
		無被害			
		程度 I	50%		
		程度 II	5%	50%	
		程度 III	30%	35%	
		程度 IV			

11	外壁		1階	2階	3階
		無被害			
		程度 I			
		程度 II	20%	30%	
		程度 III	40%		
		程度 IV		50%	

12	屋根		1階	2階	3階
		無被害			
		程度 I			
		程度 II	20%		
		程度 III			
		程度 IV	30%	30%	

13	床 (階段含)		1階	2階	3階
		無被害			
		程度 I	20%	5%	
		程度 II		20%	
		程度 III			
		程度 IV	10%	25%	

14	内壁		1階	2階	3階
		無被害			
		程度 I	30%	50%	
		程度 II			
		程度 III	15%		
		程度 IV		15%	

15	建具		1階	2階	3階
		無被害			
		程度 I	15%		
		程度 II		25%	
		程度 III			
		程度 IV			

16	天井		1階	2階	3階
		無被害			
		程度 I			
		程度 II	15%		
		程度 III			
		程度 IV		25%	

17	設備	階	被害の状況	チェック	
		浴室	/	1.配管のズレ等	✓
				2.バスタブの割れ等	
				3.再使用が不可能	
キッチン	/	1.配管のズレ等			
		2.再使用は可能だが大きく破損	✓		
		3.再使用が不可能			
	その他 上記以外の水回り、ペラダ等 ※調査対象とした設備名称を具体的に記入		特記なし		

	a	b			c			d	e	f	g
		階 別 別 率 部 位 傷 別 率			階 別 別 部 位 傷 割 合			部 位 別 損 害 割 合	重 み 付 け 損 害 割 合	部 位 別 損 害 割 合 (採用値)	傾斜 2cm以上の場合
		無損傷の面積率×0 + 損傷程度Ⅰの面積率×0.1 + 損傷程度Ⅱの面積率×0.25 + 損傷程度Ⅲの面積率×0.5 + 損傷程度Ⅳの面積率×0.75 + 損傷程度Ⅴの面積率×1			a×b×各階面積率			cの各階 合計	主要階の c×1.25 + 他の階 のc×0.5	dとeの大きい 方(MAXa)	
主要階	1階	2階	3階	1階	2階	3階	各階計	重み付き 計			
外壁	10%	50.0%	45.0%	0.0%	3.3%	1.5%	0.0%	4.8%	4.9%	4.9%	4.9%
柱(又は 耐力壁)	20%	21.3%	30.0%	0.0%	2.8%	2.0%	0.0%	4.8%	4.5%	4.8%	
屋根	10%	27.5%	22.5%	0.0%	1.8%	0.7%	0.0%	2.6%	2.7%	2.7%	2.7%
床 (階段含)	10%	9.5%	24.3%	0.0%	0.6%	0.8%	0.0%	1.4%	1.2%	1.4%	1.4%
内壁	15%	20.5%	16.3%	0.0%	2.0%	0.8%	0.0%	2.9%	3.0%	3.0%	3.0%
建具	10%	1.5%	6.3%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%
天井	5%	3.8%	18.8%	0.0%	0.1%	0.3%	0.0%	0.4%	0.3%	0.4%	0.4%
設備 ※	10%				3.0%	0.0%	0.0%	3.0%	3.8%	3.8%	3.8%
基礎	10%			10%			1.0%	1.0%		1.0%	
傾斜	cm			2							15%
<b>計</b>									22.3%	31.5%	

傾斜が2cm以上の場合は、「f」と「g」の大きい方

備考

調査月日	平成 XX年 X月 XX日	調査員	ふいかく たろう
1 調査時	13:20 ~ 14:00	所在地	XXXXXX

2 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊					いずれかに該当 → 平均値が4cm以上 → yes → ↓ no ✓ (基礎ぐいを用いる住家について) 2cm以上かつ最大沈下量もしくは最大露出量30cm以上 → yes → ↓ no ✓ 「4」に図面を記入し部位別調査へ	<input type="checkbox"/> 全壊 (調査終了) ※被害状況写真を撮影
	3 傾斜	測定箇所	①	②	③		
	水平距離 (cm)	2	2	3	3	2.5	cm

6 柱・梁の目視	<input checked="" type="checkbox"/> 外観目視により柱又は梁を確認できる場合 ⇒ 7 柱 梁へ
	<input type="checkbox"/> 外観目視により柱および梁を確認できない場合 ⇒ 8 雑壁・仕上等へ

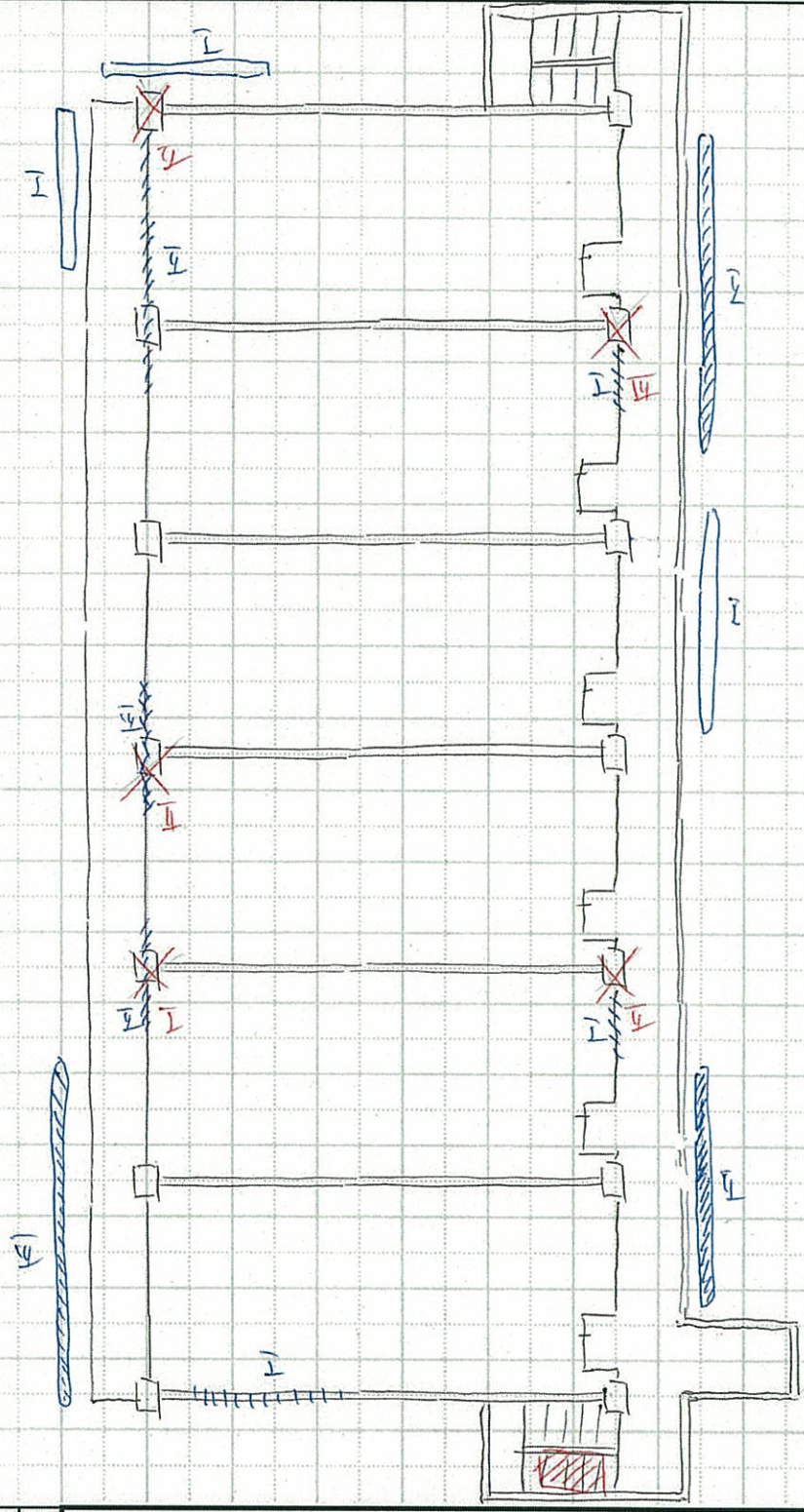
7 柱	損傷柱の本数		柱の総数	7 梁 (目視が可能な場合)	面積率	
	程度	本数			程度	面積率
無被害(0%)			14	無被害(0%)		
程度 I (10%)	1			程度 I (10%)	10%	
程度 II (25%)	3			程度 II (25%)	15%	
程度 III (50%)	1			程度 III (50%)	5%	
程度 IV (75%)				程度 IV (75%)		
程度 V (100%)				程度 V (100%)		

8 雑壁・仕上等	面積率		9 設備等	被害の状況	
	程度	面積率		設備	被害の状況
無被害(0%)			高架水槽・受水槽		
程度 I (10%)	10%		外部階段	一部 崩れ	
程度 II (25%)	20%				
程度 III (50%)	15%				
程度 IV (75%)			その他外部から目視できる設備 (具体的設備名称を記入)	なし	
程度 V (100%)					

判定	損害割合	20% 未満	20% 以上	40% 以上	50% 以上
	28.4%	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊



【平面図】



4

5	応急危険度判定	危険	要注意	調査済	不明	※応急危険度判定に記載されているコメントを転記 ※住家の内部に著しい被害 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

備考

	b	c
	<b>部位別 損害割合</b>	<b>傾斜 2cm以上の場合</b>
a ↓	$a \times (\text{無被害面積} \times 0$ $+ \text{被害程度 I の面積} \times 0.1$ $+ \text{被害程度 II の面積} \times 0.25$ $+ \text{被害程度 III の面積} \times 0.5$ $+ \text{被害程度 IV の面積} \times 0.75$ $+ \text{被害程度 V の面積} \times 1)$	

**【外観目視により柱又は梁を確認できる場合】**

<b>柱(又は 梁)</b> <small>※大きい方の値を 採用</small>	<b>60%</b>	5.8%	/
<b>雑壁・仕上 等</b>	<b>25%</b>	3.4%	3.4%
<b>設備等</b>	<b>15%</b>	5.0%	5.0%
<b>傾斜</b>	cm	/	<b>20.0%</b>
	<b>計</b>	14.2%	28.4%

**【外観目視により柱又は梁を確認できない場合】**

<b>外壁</b>	<b>85%</b>	/	/
<b>設備等</b>	<b>15%</b>	/	/
<b>傾斜</b>	cm	/	<b>20%</b>
	<b>計</b>	/	/

傾斜が2cm以上の場合は、  
「b」と「c」の大きい方

調査月日	平成 <u>XX</u> 年 <u>XX</u> 月 <u>XX</u> 日	1 調査時	<u>10:00 ~ 11:00</u>
調査員	<u>ないかく たろう</u>		<u>ほうさい はりこ</u>
立会人	<u>XXX XXX</u>		
所在地	<u>XXXXXXXX</u>	世帯主氏名	<u>XXX XXX</u>

2 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊		いずれかに該当					
3 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	→ 平均値が4cm以上 → yes	<input type="checkbox"/> 全壊 ※被害状況写真を撮影
	水平距離 (cm)	<u>2</u>	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>2.5</u> cm	↓ no ✓ (基礎ぐいを用いる住家について) 2cm以上かつ最大沈下量もしくは 最大露出量30cm以上 ↓ no ✓ 「4」に図面を記入し部位別調査へ	

5	鉄骨造	鉄筋コンクリート	6	ア柱・イ耐力壁	損傷程度	損傷数	総数	7	ウ外部仕上 / オ耐力壁	損傷程度	面積率
	ア:柱 ⇒6へ	エ:柱 ⇒6へ		無被害(0%)	<u>2</u>	<u>4</u>	無被害(0%)				
	イ:耐力壁 ⇒6へ	オ:耐力壁 ⇒7へ		程度Ⅰ(10%)			程度Ⅰ(10%)				
	ウ:外部仕上 ⇒7へ	※判定に用いた部位を丸で囲む		程度Ⅱ(25%)	<u>1</u>		程度Ⅱ(25%)				
		程度Ⅲ(50%)	<u>1</u>	程度Ⅲ(50%)							
		程度Ⅳ(75%)		程度Ⅳ(75%)							
		程度Ⅴ(100%)		程度Ⅴ(100%)							

8	床	損傷程度	面積率	9	梁	損傷程度	面積率
		無被害(0%)	<u>65%</u>			無被害(0%)	<u>90%</u>
		程度Ⅰ(10%)	<u>20%</u>			程度Ⅰ(10%)	<u>10%</u>
		程度Ⅱ(25%)	<u>15%</u>			程度Ⅱ(25%)	
		程度Ⅲ(50%)				程度Ⅲ(50%)	
	程度Ⅳ(75%)		程度Ⅳ(75%)				
	程度Ⅴ(100%)		程度Ⅴ(100%)				

10	外部仕上・雑壁・屋根	損傷程度	面積率	11	内部仕上・天井	損傷程度	面積率	12	建具	損傷程度	損傷枚数	総数
		無被害(0%)	<u>65%</u>			無被害(0%)	<u>45%</u>			無被害(0%)	<u>14</u>	<u>20</u>
		程度Ⅰ(10%)	<u>15%</u>			程度Ⅰ(10%)	<u>35%</u>			程度Ⅰ(10%)	<u>4</u>	
		程度Ⅱ(25%)	<u>20%</u>			程度Ⅱ(25%)	<u>20%</u>			程度Ⅱ(25%)	<u>2</u>	
		程度Ⅲ(50%)				程度Ⅲ(50%)				程度Ⅲ(50%)		
程度Ⅳ(75%)		程度Ⅳ(75%)		程度Ⅳ(75%)								
	程度Ⅴ(100%)		程度Ⅴ(100%)		程度Ⅴ(100%)							

13	設備等(住家外)	設備	被害の状況	14	設備等(住家内)	設備	被害の状況
		高架水槽・受水槽				システムキッチン	<u>シンク破損</u>
		外部階段	<u>一部に崩れ</u>			洗面台	
	その他外部から目視できる設備			便器			
				ユニットバス	<u>バス77破損</u>		
				配管の取り付け口			

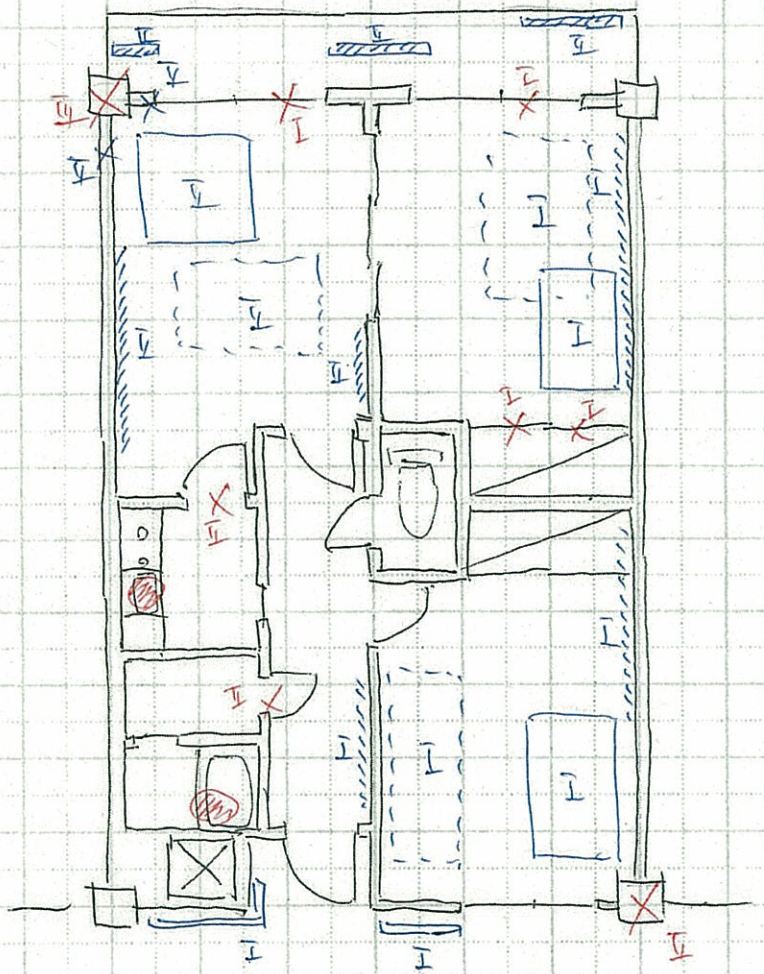
判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
	<u>27.7%</u>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊



--	--	--	--	--	--

【平面図】

4



□ : 床, X 梁

X : 柱, 建具

▨ : 外部仕上

⊘ : 設備

||||| : 内部仕上, □ : 天井

		b	c
		部 位 別 損 害 割 合	傾斜 2cm以上の場合
a ↓		$a \times (\text{無被害面積} \times 0 + \text{被害程度 I の面積} \times 0.1 + \text{被害程度 II の面積} \times 0.25 + \text{被害程度 III の面積} \times 0.5 + \text{被害程度 IV の面積} \times 0.75 + \text{被害程度 V の面積} \times 1)$	
柱(又は耐力壁)	50%	9.4%	
床・梁 ※大きい方の値を採用	10%	0.6%	
外部仕上・雑壁・ 屋根	10%	0.7%	0.7%
内部仕上・天井	10%	0.9%	0.9%
建具	5%	0.2%	0.2%
設備等(住家内)	10%	3.0%	3.0%
設備等(住家外)	5%	3.0%	3.0%
傾斜			20.0%
	計	17.7%	27.7%

傾斜が2cm以上の場合、「b」と「c」の大きい方

備考